



まつかわまち

2022

154号

1月

議会だより

町民投稿

樹に岩に 水に礼して 年新た(俊博)

シリーズ 『えがお』

新井商店街を彩る中学生の有志



12月定例会

子育て世帯臨時給付1億9千万円 …

2

ページ

4団体と考える(議会と語る会) ……………

10

ページ

町の考えを問う(一般質問) ……………

13

ページ

一般会計補正予算 子育て世帯への臨時特別給付金

速やかに給付

12月定例会では、信州まつかわ温泉清流苑事業の地方公営企業への移行に伴う条例の制定が5件、条例の一部改正3件と、補正予算は一般会計（第4回）（第5回）、国民健康保険（第3回）、後期高齢者医療（第2回）、介護保険（第2回）、水道事業（第2回）、下水道事業（第2回）などについて審議し、可決した。

一般会計補正予算(第4回補正)概要 単位:千円

補正前の額	補正予算額	補正後の額
7,269,775	119,589	7,389,364

歳入(主なもの) 単位:千円

科目	補正額
新型コロナウイルスワクチン接種対策国庫負担金	23,573
信州農業生産力強化対策事業補助	8,153
ふるさと応援寄附金	30,000
諸収入	51,721

歳出(主な事業の概要) 単位:千円

科目	補正額
ふるさと応援寄附金事業	30,000
保育サポート事業	417
新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業(増額補正)	23,574
信州農業生産力強化対策事業	8,153
観光活性化事業	600
リニア対策(発生土運搬対策)	100,081

一般会計補正予算(第5回) 単位:千円

補正前の額	補正予算額	補正後の額
7,389,364	197,726	7,587,090

歳入 単位:千円

科目	補正額
子育て世帯への臨時特別給付金国庫補助金	197,726

歳出 単位:千円

科目	補正額
子育て世帯への臨時特別給付金	197,726



リニア対策費一億円

質問 リニア対策費一億円の内訳は。

答弁 護岸線道路改良に5,100万円。洞新線用地購入に3,300万円。洞新線上路補償に1,200万円である。道路改良についてはJRの負担となっている。

上物補償はJRへ

質問 洞新線他、上物補償の1,200万円はJRに負担してもらうべきと考えるが、町の考えは。

答弁 立木伐採が200万円、洞新線上物が500万円、前河原横井戸500万円である。発生土運搬のための処置であるのでJRに負担してもらえよう交

渉している。

入所者増に対応

質問 養護老人ホーム入所者保護措置費増851万9千円の詳細は。

答弁 当初より3名の入所者増。また、予定になかった措置が1名増。今後、2名の入所者が予定されている。

ほっと一息サポート券

質問 保育サポート券印刷代、業務委託料はどのような内容か。

答弁 保育サポート事業は子育ての負担軽減を目的に年度当初から行っているが、周知不足の面もあった。1時間程度お子さんを預けられる制度で、まずは

農業発展のための補助金

質問 農畜産業振興事業補助金のうち、ブドウの雨除け施設については来年度から国の補助金を使うことが示されているが、補助率や申請に違いはあるか、また現在の周知の方法は。

答弁 ブドウの雨除け施設は県全体でも非常に要望が多く、次年度は県全体で取りまとめの産地パワーアップ事業を使う予定である。補助率や申請の手続きなどに違いはないと考える。周知はJAとも協力し取りまとめもらい、町としても農業団体へ通知していく。

住民意識調査どう生かす

【質問】 定住対策費74万9千円の狙いは。

【答弁】 色々な方の意見を吸い上げ、持続可能な自治組織づくりの方向性を見出ししていきたい。特に二十歳以上の若者、女性、自治会未加入者を重点的に、千人規模のアンケートを行いたい。コンサルタント会社に協力してもらい集計と分析を行う。

ふるさと納税有効活用を

【質問】 ふるさと納税ポータルサイト使用料増171万8千円増はどのような経緯か。

【答弁】 ふるさと応援寄付金3,000万円増額に伴うポータルサイト手数料の増加である。

討論

清流苑企業会計への条例制定について

反対

清流苑の管理者と町長との両立は難しい。
加賀田議員

一般企業職員と契約企業職員の手当の部分に大きな隔たりがある。
米山(郁)議員

賛成

職員形態を同じにすることは難しい。条例全てに賛成ではないが企業会計への移行を早くし経営存続するべきである。
森谷議員

今後さらなる発展のためにこの条例を制定して前に進むことが望ましい。
間瀬議員



好調だったふるさと納税返礼品

陳情②

消費税の適格請求書(インボイス)等保存方式導入の中止を求める陳情

貴議会が国及び政府に対し、消費税の適格請求(インボイス)など保存方式の実施を中止すること。

審査結果 9月定例会において継続審査となっていた議案について委員会では10月18日に講師をお願いし、学習会を行った。その後慎重に審査を行った結果、免税事業者(益税)を無くし税の公平性においてインボイスの導入をすべきである。消費税は財源として必要であり、適正な課税を確保するためにもインボイスを進めていくことは必要である、などの意見があり陳情には全員が反対で不採択とした。
本会議では賛成2で不採択となった。

討論

賛成

身近な地元の事業所や中小業者を守っていくためにも導入を中止すべきである。
米山(義)議員

陳情①

障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国へ求める意見書の提出についての陳情

障がい者が医療機関で虐待を受けた場合に速やかに救済するため、虐待発見時の行政機関への通報義務を、医療機関内での虐待も対象として加えるよう障害者虐待防止法の改正を求める意見書を国への提出をお願いする。

審査結果 社会文教常任委員会では全員一致で賛成。本会議に於いても全員一致で採択し地方自治法第99条の規定により意見書を提出。

だより

社会文教 常任委員会

日(水)に総務産業建設常任委員会を行い、
た。委員会判断にて現地調査も実施しました。

審査を分担し、能率的に処理するために設置された機関です

社会文教常任委員会は、住民税務課・保健福祉課・教育委員会（こども課・生涯学習課）・会計室の分野を担当しています。

質問・意見

答 弁

- | | |
|---|--|
| ① 中学校管理費の部活動指導員増48万円とあるが、先生方に対する負担軽減効果は。 | ① 昨年までは剣道・卓球・女子バスケであった。新たに男子バスケ・サッカーが増えた。5人の部活動指導員となり先生方の負担軽減にも繋がっている。 |
| ② 予防費の新型コロナワクチン接種委託料2,357万4千円の内容は。 | ② 接種をするときに医師会へ支払う委託料である。第3回目の諸経費は、11月の臨時会で承認済。 |
| ③ 社会福祉センターの玄関ドア修繕67万8千円はどのような内容なのか。 | ③ 玄関ドアは内側と外側2カ所で、22年を経過、非常に危険性がある。安全装置などの取り換えが必要。 |
| ④ 高齢者福祉費の地域福祉医療介護総合確保基金事業補助金減906万5千円の理由は。 | ④ 日赤の介護医療院への転換とする補助金で、当初予定では病床数40床であったが34床に変更となり工事費が減額となった。 |
| ⑤ 保育所費の保育委託料増80万円について説明を。 | ⑤ 保護者の方が町外に勤務され、町外へ保育をお願いしている委託料。12月から入園された方が対象。 |
| ⑥ 子育て支援センター費で保育サポート業務36万3千円についてと、周知の方法は。 | ⑥ 保育サポート券は、1回600円の4回分で151名が対象。周知は、保育園入園説明会で保護者のみなさんに説明している。新聞にも掲載している。 |

審査を付託された議案

令和3年度松川町一般会計補正予算（第4回）
令和3年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）
令和3年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）
令和3年度松川町介護保険事業特別会計補正予算（第2回）
当委員会に付託された議案は、原案の通り認めることが妥当と決しました。

陳情 2

税の公平性や税収確保の面から全員反対で不採択。

陳情 3

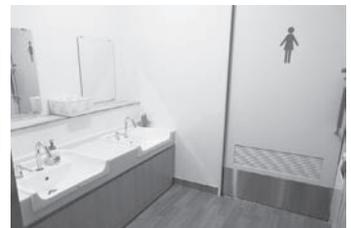
病院内で障がい者や子どもに対する虐待が多発して法整備が必要であることから全員賛成で採択。

調査・研究

町内3校においてトイレの改修工事を行っている。一部完成した北小学校を視察。男女のトイレとも清潔感や快適感がありました。子育て支援センター「おひさま」の新調された巧技台を視察しました。新しくなりお子さんが楽しく遊べると思います。途中、上片桐の清北にある教員住宅も視察をしてきました。



組立て変えて遊べるよ



町で1番新しいトイレ

総務産業建設 常任委員会

総務産業建設常任委員会とは、総務課・まちづくり政策課・産業観光課・リニア対策課・建設水道課・議会事務局の分野を担当しています。

委員会

12月6日(月)に社会文教常任委員会、12月8日(水)にそれぞれ付託された議案について審議しました。

※常任委員会制度とは、多数の議案をそれぞれ担当部門別に調査と

質問・意見

答弁

一般会計補正予算

①ふるさと応援寄付金増3,000万円について、増額補正の要因、特徴、新たに寄附をしてくださる方への広報の方法について。

②住民意識調査業務60万円は予算計上の段階で、仕様書など具体的に示されていない。税金の無駄遣いにならないよう判断しなくてはいけない。調査をやりたいだけで提出されるというのは、非常にアバウトである。

③定住対策を考えるなら、新しく転入された方やグループでの集会をする中で話を聞いた方が早いと思うが。

④商工費、観光費、観光活性化事業補助金60万円の計上について政教分離についての町の考えは十分理解できる。補助金等交付規則に基づいて申請をして、問題ないという手続を踏むことが大事かと思うが。

下水道事業会計補正予算

①収益的支出、処理場費破碎機修理88万円について、今回の修繕により破碎機の耐用年数はあとどれくらいあるか。

① 巣ごもり需要や、松川町では返礼品の数を増やしたのが要因。広報はメルマガの配信なども定期的に行う。ポータルサイトから入る新規のお客様が多く、他の自治体との差別化を図り、特徴ある見せ方をしている。

② 今回は行政で作るのでなく、委託料を計上し実効的に効果を上げたいと考える。年度内ということをはっきりお示しできず、反省する。とにかく早く取り組みたいという思いがあった。

③ 松川に移住してこられた方に聞いたほうがいいというのは同意見であるが、今回は又聞きとするより、アンケートという形をとらせて頂く。

④ 9月の段階で上片桐区長、名子区長から補助金要望書ということできている。それぞれの区長より要請がされて町として十分検討した結果である。予算可決後に申請書の提出となり交付規則に則り決定する。

⑤ 破碎機の耐用年数は15年間であり、H27年で償却済の機械となっている。今回修理することにより公共下水道処理場との統合する迄の間使用したいと考える。

審査を付託された議案

令和3年度松川町一般会計補正予算(第4回)
令和3年度松川町下水道事業会計補正予算(第2回)
令和3年度松川町下水道事業会計補正予算(第2回)
清流苑事業に公営企業法を適用することに関する条例の制定等(8議案)
当委員会に付託された議案は、原案の通り認めることが妥当と決定しました。

詳しくはP6をご覧ください



静かに出番を待つ宮ヶ瀬橋



信号も付き運用開始間近

片桐松川の床固工事に伴う町有林の売却予定地、発生土運搬に関する町道護岸線及び洞新線の改良事業現場、開通する新宮ヶ瀬橋、新規に信号を取り付ける県道松川インター大鹿線と町道59号との交差点の現地調査をしました。

清流苑事業に地方公営企業法適用を可決

経営者会議で課題を解決し、より健全経営を!!

平成4年に信州まつかわ温泉として清流苑がオープンして以来、多くの町民の皆さんから親しまれ、身近な存在として運営しているが、30年が経過し、施設の老朽化や、令和2年度からの職員への会計年度職員制度適用など現状にそぐわなくなってきた。

近隣町村の同様な事業と比較しても清流苑事業は健全経営であり、本来、町民への福利厚生など、町が行わなければならない事業にしている。清流苑事業として担っている面もある。

経営者会議などで数年かけて今後の清流苑事業の健全化に向けて検討がなされ、課題の解決に向けて地方公営企業法を全適用することになった。

財政状況の見える化が図れるか

議会でもたびたび問題視していたが、今回の適用で財政状況の見える化ができ、健全経営に活かすこと。

急がれる施設の老朽化対策

開業以来30年を経過し、施設全体が相当老朽化している。現在の特別会計では資産価値などについては計上されず、現段階では不明瞭となっている。速やかに資産価値などを確定し、施設全体の改修を含めて検討する時期にきている。

事業として何がふさわしいか

町民への福利厚生、例えばスポーツ施設運営などが含まれているが、本来の保養施設との区分けをはっきりすべきである。

適用後の職員待遇の検討

職員の待遇についても、行政の職員とは異なり、サービスの任用職員としての待遇など研究の余地がある。

町の保養施設としての役割は

清流苑は観光施設としての役割も混在する。町民が期待する保養施設の充実はどうすべきか検討が必要である。

討論

討論の中で「管理者」、「宿直手当」、「退職手当」の件で議員より発言があった。今回の提案は、現在特別会計で適用されている条例を地方公営企業法に於ては、清流苑会計を公営企業会計へ移行するのが目的である。採決の結果賛成多数にて可決された。今後は経営者会議で議論を尽くし方向性を示すべきである。

- 清流苑事業に地方公営企業法を適用することに関する条例の制定などについては、以下の8つの議案が審議されました。
- ・松川町信州まつかわ温泉清流苑事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することを定める条例の制定
 - ・松川町信州まつかわ温泉清流苑事業の設置等に関する条例の制定
 - ・松川町特別会計条例の一部を改正する条例の制定
 - ・松川町保養宿泊施設設置条例の全部を改正する条例の制定
 - ・松川町使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定
 - ・松川町信州まつかわ温泉清流苑事業に従事する企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定
 - ・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定
 - ・松川町信州まつかわ温泉清流苑事業の利益及び資本剰余金の処分に関する条例の制定



この賑わいをいつまでも続けてほしい

新型コロナウイルスに向き合うために

11月9日第3回臨時会が開催され一般会計補正予算(第3回)では感染拡大防止対策事業3,738万円、生活支援事業3,834万円、地域経済支援事業5,564万円他の各事業が提案され、保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第2回)と共に可決。

補正予算(第3回)総括

単位:万円

補正前の額	補正予算額	補正後の額
72億2,073	4,905	72億6,978

歳入

単位:万円

科 目	補正額
新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金	1,336
地方創生交付金	1,337
特別警報II発出市町村等事業者支援交付金	760
現年発生公共土木災害復旧事業	370
緊急防災・減災事業債増	200
緊急自然災害防止対策事業債増	900

歳出

単位:万円

項目	科 目	補正額
感染拡大防止対策事業	新型コロナウイルス接種事業	1,336
	リモートWEB会議	140
	移住体験住宅修繕	180
	保育所(手洗場改修)	100
	児童館(入退館管理システム)	150
	公民館他自動水栓化	88
	選挙投票用紙交付機	454
	避難所等災害対応資材	1,069
生活支援事業	子育て支援センター	220
	新型コロナウイルス抗原検査費	484
	まつかわお店応援券	2,690
地域経済支援事業	小中学校GIGAスクール推進事業	660
	小規模事業者応援給付金	2,000
	検査キット(水際対策)	450
	創業支援	100
	保養宿泊施設支援	3,000
その他	制度資金データ化	15
	道路橋梁維持	1,350
	道路災害復旧工事	370
予備費	▲9,952	

状況は
コロナ抗原検査

質問 コロナ抗原検査料補助が一人1回から3回まで拡充されるが、今までの検査件数と、これからの対応は。
答弁 4〜9月の間月平均43人の抗原検査利用。社会活動の再開を後押しする意味で、今後、検査キットを事業者へ申請に応じて配付する。

八月豪雨被害と復旧の状況は

質問 道路橋梁維持費1,700万円の補修箇所は。
答弁 町内全域で、道路応急保補償は15カ所の側溝整備は、増野・滝の沢・塩倉の3ヶ所である。

清流苑の経営状況は

質問 清流苑への3,000万円繰り入れで、本年度何とかなるのか。

質問 清流苑への3,000万円繰り入れで、本年度何とかなるのか。象としたシステムには、不登校生徒を対

ICT教育と不登校生徒支援は

質問 小中学校の電子黒板他オンライン授業機器整備約610万円は、不登校生徒を対

コロナ禍、事業者支援は

質問 小規模事業者応援給付金は、今回大きく適用要件を変えているがその説明を。

投票用紙交付機更新は

質問 選挙の投票用紙自動交付機453万余円補正の必要性は。
答弁 手渡しだったものを自動交付するためと更新用に15台分購入する。

下伊那北部総合事務組合議会議員の選挙
空席となつて議会の選挙を実施し、大蔵 洋議員を選出。

有志でJOCA(ジョカ)を視察



駒ヶ根市中央にあるJOCA本部(2階)

本部を駒ヶ根市に置く

JOCAとは、青年海外協力協会(公益社団法人)の事で、青年海外協力隊のOB・OGなどで構成されており、国の補助金などを活用して運営されています。本部が駒ヶ根市にあり、他に東北、大阪、東京など全国に拠点を持っています。

海外青年協力隊の経験を活かして、年齢、国籍、障がいの有無を問わず、生き生きと暮らせることを目指し、運営展開をしている機関です。

街なかに施設を置き、集いやすいのも特徴です。松川町議会では、以前に金沢市と輪島市に

おいて同様の事業を行っている福祉施設を視察しており、今回はJOCAの駒ヶ根市本部を訪問しました。

現在松川町で計画されている仮称「元気センター」の建設にあたり、参考にできればという目的がありました。

みんなごちゃませ!

高齢者も障がい者も、子どもも大人も、若者も地域の人がどこからともなく集まってくる、遊びに来る、交流する、そんな居心地のいい場所をめざしているとのこと。

施設の一角には、一面鏡張りの貸出スタジオがあり、ダンスの練習その他、多用途に利用されているようです。

仮称「元気センター」でも、どうしたら自然に集う事ができるかのアイデアが求められます。



集いの場 ごっちゃウエルネス

障がい者の雇用が、積極的に!

GOTCHA! WELLNESS(ごっちゃウエルネス)が運営され、誰でも利用できます。

操作が簡単で、使いやすい最新のマシンが設置されていますので、体力や運動に自信のない方でも気軽に参加できそうです。

個人会員は現在200名、月額4,500円で、何度でも利用でき体力づくりや交流の場として親しまれています。

このウエルネスでは障がい者の雇用も積極的に行われており、現在6名の方が働いておられるそうです。



楽しく健康づくり

ワーケーションに大きな期待するなかれ

令和3年10月29日に下條村のコスモホールに於いて、飯伊市町村議会議員研修会が開催され、「人口減少時代の地方行政ウイズコロナ・アフターコロナの地域づくり」と題して、時事通信社メディア選任局兼解説委員の武部隆氏より話を聞いた。冒頭に新型コロナに



子どもの学校は？ 夫婦の職場は？
家族はどうするワーケーション？

【写真提供：国土交通省 観光庁】

ついて絶滅は不可能であり、予防接種しても集団免疫の獲得は困難である。第6から8の波は来る。今後の自治体運営も税収の減少、行政サービスの担い手不足により難しくなってくる。雇用創出、地方移住促進、子育て支援、安心・安全、出生率の向上への即効性は

無い。やみくもに税を投入すべきではない。交流人口や移住に関する事業が多いがワーケーションに大きな期待するなかれ、無駄であると厳しい内容の話であった。

自治体の目的は住民サービスであり、住民の幸福度をいかに高めるかである。「住民」の視線で行政を見直すことが重要で、幸福度を上げるには何が必要かを考えながら地域の課題解決をしていくこと。コロナ禍であることで色々なことが解決できる時間があるので取り組んでほしいと締められた。

今迄の講演とは違った視線での内容であった。町の現状と課題に向き合い、住民を主役とした未来を見据えた町づくりを考えていかなくてはならない。

広域連合議会も常任委員会を設置し機能を強化

11月定例議会では、従来より設置されていた検討委員会制度を廃止、常任委員会制度を新たに設置し、広域連合議会としての役割を十分発揮できる体制としました。

広域連合の沿革

飯田・下伊那地域の広域の動きは昭和の中頃より芽生え、組織の名称とその時代毎の課題を解決しながら、平成11年に現在の広域連合となりました。

えて、当地域の望む将来像などを現すビジョンなどを策定しています。

検討委員会と常任委員会の大きな違い

広域連合の事業は年々多岐に渡り予算規模も大きくなり、地域にとつて重要な政策的事業の増加が今後も見込まれるため、議決責任を負う議会として議案審議をより慎重に行う必要があります。

現在の任意設置の検討委員会では議案審議が出来ません。一方で今回設置された常任委員会は、どの市町村議会でも設置されている常任委員会であり議案審議をしっかりと行うための制度です。

検討委員会は情報の共有の場として「聞き置く」ことが主であり、議会の意思表示には結びついていないかつた。今後は「審議を行う」という議会本来の役割を果たすことができる機関として付託案件の審議や採択が主な役割となり、審査権や調査権を持つことが大きな違いといえる。

重要になる果たす役目

リニア新幹線開業や三遠南信自動車道開通などを見据えて、社会情勢の変化や地域振興など地域で共通する課題などを地域全体で考



はじめに 今年の議会と語る会は緊急事態宣言下でしたので、農商工と女団連の4団体とで、現状の課題と取り組んでいることや、将来のまちづくりについて意見交換を実施しました。今回頂いたご意見は議会として政策提言に繋げて参ります。町の住民の皆様にも各団体が抱えている課題や将来の町づくりなどの情報を共有して、課題解決の参考になればと思います、議会と語る会の様子をチャンネル・ユーで放送してきました。感想や御意見を頂ければ幸いです。

広報広聴委員会 広聴部会長 坂本勇治

松川町商工会

松川町としての農業、商業、工業など産業の発展についてのビジョンが見えない。今後、町の産業が発展していくのか憂慮されます。産業発展に向けた、ビジョンとJRの発土を活用した工業団地確保などの施策を早急に進めていく必要があります。

重ねて国土強靱化計画を始めて下小松川橋から松川大橋間の両側を整備し、上県道に繋がる道路や上片桐バイパスを高森、飯田市までの早期延伸が産業道路として活用できます。早期実現を要望します。

農業経営を学ぶ会「新・みらい塾」

荒廃農地、遊休農地が増えています。個人の力では解決できません。農地として元に戻すのが大変です。農地として維持できていれば活路があるのではないかと思えます。松川町として、自然の風景や街並み、農地などちようどいい田舎の風景をどれだけ残せるかが重要と考えます。

10月14日 議会と語る会を開催

4団体と考える



将来のまちづくり

若手農業者の会「若武者」

町の観光農業が発展できたのは松川ICができたおかげです。リニア新幹線駅ができることにより松川から飯田へ拠点が移り、座光寺SICが開通し交通の流れが変わり、これからの農業発展が危惧されます。今回の若武者創立20周年記念マルシェのように、農家全体で他業種と共催し、松川でしかないブランドづくりの強化とアピールが必要です。

女性団体連絡会

魅力がある産業がないと若い人が留まらないし、帰ってこない。若い人達が帰ってきたくなる町づくりを進めるには、企業誘致をして魅力あるまちづくりをするべきです。県レベルのスポーツ施設を造るなどポジティブな発想もこれからは必要です。

空き家の問題も、立地的に良い場所があれば町で買い取りをして交流人口増に繋がる施設や地域活性化になる施設に活用することも必要ではないでしょうか。高齢化が進み、デイサービスなど介護費用も家庭を圧迫しています。少子化と同じくらいに対策をすることが重要です。

議 決 結 果

令和3年 第3回 臨時会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内 容
令和3年度補正予算 令和3年度松川町一般会計補正予算(第3回)について	可決	4,904万円追加し、72億6,977万円とする。
令和3年度松川町保養宿泊施設事業特別会計補正予算(第2回)について	可決	1,500万円減額し、3億7,729万円とする。
選挙 下伊那北部総合事務組合議会議員の選挙	可決	欠員に伴い、大蔵洋議員を選任。

令和3年 第4回 定例会議決結果

●全員一致で議決されたもの

件名	結果	内 容
専決 松川町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	承認	一般職、特別職、議会議員の期末手当の引き下げを行うもの。
条例 松川町信州まつかわ温泉清流苑事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することを定める条例の制定について 松川町特別会計条例の一部を改正する条例の制定について 松川町保養宿泊施設設置条例の全部を改正する条例の制定について 松川町使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について 松川町信州まつかわ温泉清流苑事業の利益及び資本剰余金の処分に関する条例の制定について	可決	清流苑事業に地方公営企業法を全適用するための条例整備を行うもの。
	可決	
令和3年度補正予算 令和3年度松川町一般会計補正予算(第4回)について 令和3年度松川町一般会計補正予算(第5回)について 令和3年度松川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3回)について 令和3年度松川町介護保険事業特別会計補正予算(第2回)について 令和3年度松川町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2回)について 令和3年度松川町水道事業会計補正予算(第2回)について 令和3年度松川町下水道事業会計補正予算(第2回)について	可決	1億1,958万円追加し、73億8,936万円とする。
	可決	1億9,772万円追加し、75億8,709万円とする。
	可決	1,695万円追加し、11億5,729万円とする。
	可決	5,124万円追加し、14億1,792万円とする。
	可決	169万円追加し、1億7,263万円とする。
	可決	収益的支出 2億8,780万円。
	可決	収益的支出 6億248万円 資本的支出 4億7,898万円。
人事 松川町固定資産評価審査委員会の委員の選任について	同意	宮沢憲司氏(再任)。
契約 令和2年度 学校施設環境改善交付金事業 松川中学校トイレ改修工事の変更契約について	可決	198万円増額し、1億1,638万円とする。
請願陳情 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の一部改正を国へ求める意見書の提出についての陳情	採択	提出者：市民の人権擁護の会 長野支部長 松尾美奈子氏 安藤 弘氏 より提出
意見書 障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律の改正を求める意見書について	可決	障がい者の虐待を防止する体制整備をさらにすすめるための法改正を求める意見書を各関係機関に提出するもの。

●多数意見により議決されたもの

賛成○ 反対●

件名	塩沢貴浩	米山義盛	加賀田亮	米山郁子	川瀬八十治	大蔵洋	中平文夫	坂本勇治	森合君夫	米山俊孝	間瀬重男	松井悦子	結果	内 容
条例 松川町信州まつかわ温泉清流苑事業の設置等に関する条例の制定について 松川町信州まつかわ温泉清流苑事業に従事する企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の制定について	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	清流苑事業に地方公営企業法を全適用するための条例整備を行うもの。
	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願陳情 消費税の適格請求書(インボイス)等保存方式導入の中止を求める陳情	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	不採択	9月定例会の際に継続審査となっていたもの。

10月～12月 主な議会日程

10月1日(金) 広聴部会	11月12日(金) 議会全員協議会
5日(火) 広報部会	議員協議会
14日(木) 議会運営委員会	24日(水) 議会全員協議会
議員協議会	議会全員協議会
18日(月) 社会文教委員会	12月3日(金) 議会全員協議会
27日(水) 産業懇談会	第4回定例会 開会
29日(金) 飯伊市町村議会議員研修会	6日(月) 社会文教常任委員会
11月2日(火) 議員協議会	8日(水) 総務産業建設常任委員会
4日(木) 議会改革推進会議	13日(月) 議会改革推進会議
9日(火) 第3回臨時議会	15日(水) 第4回定例会 一般質問 議員協議会
広聴部会	17日(金) 議員協議会 議会全員協議会
議会運営委員会	第4回議会定例会 閉会 議会運営委員会
	21日(火) 広報部会
	27日(月) 広報部会

一般質問

町の考えを問う

いっぱん質問



マチイロでご覧いただけます

一般質問とは、議員が町長などの執行機関に対し、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をたずねること。報告や説明も求めることです。12月定例会では7人の議員が登壇し、町政に提言や質問を行いました。質問の持ち時間はひとり20分です。スペースの都合上、質問者の責任において、質問と答弁を要約して掲載しています。各議員の通告通りに掲載しておりますのでページ見出しと違う場合があります。

質問議員	ページ	質問事項
① 中平文夫	P13	・自治会の抱える諸事情にどう向き合う
② 川瀬八十治	P14	・町の状況と今後の対策は
③ 坂本勇治	P15	・国土強靱化に対する町の対応は
④ 森谷岩夫	P16	・令和2年度行政評価より特に「安心安全な住みよい暮らしづくり」について ・通学路点検から見えるこれからの取組みについて
⑤ 米山義盛	P17	・地球温暖化危機に対する地域で対応について問う ・職員の働き方について
⑥ 米山郁子	P18	・農福・林福連携事業推進状況は
⑦ 加賀田亮	P19	・公営企業などの代表者としての首長の説明責任を問う

今月の表紙

◎写真の笑顔

2年続けて祇園まつりが中止となったことで、商店街に賑をと中学生まちづくり研究会が中心となり、多彩な企画をしてくれました。

◎俳句の想い

「樹に岩に 水に礼して 年新た」

新年を迎え今年もお守り下さいと、自然の全てに、手を合わせます。

議会のようごき

11月25日下伊那北部ブロック町村議会では長野県庁を訪問し、県知事、県議会、長野県各部長に要望書を提出いたしました。



Information



◎ 議会サポーター LINE メンバーを募集しております。

松川町ってどうなっているの? こうしてほしいな!
今思っていること教えてください。

議会サポーター応募先アドレス
<https://onl.tw/3nXkpQH>

◎ 議会だよりのモニターを募集しています。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。





中平文夫 議員

問 自治会の諸問題にどう向き合う

答 地域と町が連携し解決する

最近ではコロナ禍で人との繋がりも希薄さが感じられる、自治会の諸問題に向き合う姿勢が「行き当たりばったり」に見えて仕方がない。

前に進めるに2つの提案をする。

1. 公民館本館部員のネットワークは広い、連携することにより良い結果が出る
2. ロードマップを作成し、期日を区切りP D C Aを行って前進させる。

いっぱん質問

(まちづくり政策課長)
8月に第1回を開催し、現在は役場職員による自治会への個別ヒヤリングを行っている。住民の皆様には自治会内の諸々の事柄をぜひ一度整理して負担軽減するにはどうすればよいかを考えて頂きたい。

(生涯学習課長) 部員のなり手不足、参加者の少ない事業、あるいは今後の方向性についても検討する必要がある。部員のなり手不足は前年の部員が残りアバイザー制度を導入している地区もあり好評である。

(問) 現在行われている自治会対策会議の進捗状況と住民の皆さんにも考えて頂きたいことは。

(問) 公民館活動においても同じような状況である。現在の状況と改善方法は。

(町長) 同じ地域の人々が地域に共通する課題をお互いに協力し合い解決する場であり、行政としても文書配布などの行政サービスや災害時の生活機能維持などを担っていただいている。

(総務課長) 調査を行う町と関係団体などに区別し代替え手段とか最終的に目標が同じであれば再編可能な組織もあると思う。今年年末防犯パトロールについては青パトの代替手段を行う。

(問) 住民サービスをを行う上で、区・自治会の役割は。

(問) 当て職も大きな課題である。現在の調査の進捗状況は。



万一の時、大切な近所付き合い

(まちづくり政策課長)
地域と町の連携が必要である、町がすべて解決出来るわけではなく、地域も一緒になって解決して頂きたい。

(問) 推進する上で住民の皆さんに協力して頂きたいことは何か。

(意見) 行政側で改善する事項と自治会で改善する事項を明確にし、同時進行でスピード感をもって行わなければ前進しない。

問

町長政策の現状と今後の対策は

答 残りの任期を全力で邁進する



川瀬八十治 議員

町長として就任以来2年半以上が経過した。政策についての進捗状況を聞くと同時に、残りの1年少々をどのように考えているのか。

今、町は色々な課題を抱えている。①リニア工事発生土の運搬開始について ②大幅に遅れている元気センター(仮称)の建設について ③「旧青年の家」あと利用改修工事について ④コロナワクチン接種について主に質問をした。

いっぱん質問

(問) リニアの発生土運搬が10月から始まったが、安全対策などはしっかりと行われたのか。

(リニア対策課長) 安全対策として、主にカーブミラーの位置変更や設置、横断歩道の安全対策、交差点ヘキングポストの設置などを行った。

(意見) 松川右岸の鉄橋付近を拡幅して、平石橋から国道まで繋げる整備計画は、時間がかかっても最終的に繋げてもらうべきである。護岸線の左右には十分な広い場所がある、発生土を利用して土地の確保を行い、工場誘致をしたらどうか。

(問) 元気センター(仮称)建設についての進捗状況はどうなっているのか。



期待される広くて安全な道路

(保健福祉課長) 建設予定地の地質調査を実施している。本年度中には基本設計を計画している、解体費用についても年度末に算定がされる計画である。

(問) 町長の任期中に完成は無理であると判断をしても良いか。

(町長) 改修計画から改築計画に変更となったことから、順調に進めても令和5年度以降の工事着工となる。

(問) 旧青年の家あと利用についての工事内容の説明と、県と行われた協議内容を聞いた。

(産業観光課長) 県と予算要望に関する事前協議を行い、補助金の協議を行った。補助金は上限額から交付済み額を差し引いた残額、1億3,878万円となる。

(問) 長寿命化工事の概要予算が1億6,251万円と、県補助金より多くなっている。工事の事業の内容を精査すべきではないか。

(産業観光課長) 実際の工事の内容などは設計業務を発注した後に、決定をする予定である。経費を抑えて適正な工事規模となるように検討する。

(問) 3回目のワクチン接種については、どのように進めていくのか。また、年齢別も含めて詳しい説明を。

(保健福祉課長) 3回目については、8カ月を経過した後の接種となる。5歳から11歳の接種については、12歳以上用のワクチンと違い濃度や接種の量が異なる専用のワクチンである。

(問) 令和4年度の予算編成が行われているが、予算方針について町長の思いは。

(町長) 人が育つ町のために、人の繋がりを再構築していくことになろうかな予算編成にしていこう。



坂本勇治 議員

問 国土強靱化に対する町の対応は

答 災害に対する備えは重要と考える

国が示す国土強靱化には、防災・減災だけでなく災害が起きた時への対応も含まれている。町内の計画的な幹線道路整備は、災害時の早期復旧復興に有効なのはもちろん、商業工業を含め町の発展への期待ができ、将来の町づくりに繋がる。商工会や議会からの提案に真摯な対応をお願いしたい。

(問) 松川町国土強靱化地域計画が策定されている。この計画の趣旨や目的、位置づけなどを含め説明を。

(町長) 松川町国土強靱化計画は、大規模自然災害に対するこの地域の脆弱性をあらかじめ認識するとともに、その克服に向け、行政だけでなく、町民、関係機関が一体となって地域の強靱化に取り組むことにより、町民の生命、財産、暮らしを守ることを目的に令和3年の3月に策定した。

(総務課長) 検討プロセスは①目標の明確化、②最悪の事態を七つの分野で想定、③脆弱性の分析・評価・検討課題、④リスクへの対応・方策の検討、⑤重点化・優先順位付けして計画している。

(問) 風水害を想定した、町内の危険個所の把握と対応は何処までできているのか。

(総務課長) 風水害の危険箇所の把握については、県が取りまとめたデータをもとにして、土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域に基づき、防災ハザードマップの改訂版を3月に策定し改めて危険箇所の把握を行った。総務課の危機管理係と建設水道課と連携して業務を遂行している。

(問) 町道や幹線道路の不通を想定した対応や、孤立地区を作らなため道路整備をどう考えるか。

(町長) 緊急輸送道路に指定されている国道153号は、広域的にも重要な基幹道路となっており、令和元年度に隣接する飯島・中川・高森と連携をして、国道153号伊那バレーリア北バイパス改良促進期成同盟会を発足し、リニア駅にアクセスする高規格な道

路整備を、周辺町村と連携し国県へ要望をしている。

(主) 松川インター大鹿線は東西を結ぶ唯一の重要な基幹道路です。指摘の通り複数の路線整備が懸案事項だと認識をしている。
災害時の代替道路の必要性を考え、東西の基幹道路の整備は必要だと考えている。

(問) 他市町村ではリニアの発生土利用や開通後のまちづくりを着々と進めている、松川町は計画すらできていない。町の長としてリーダーシップを取り自ら提案して頂きたいが。

(町長) 地域の皆様と話し合いをしながら進めているのが現状です。これからも全力で邁進してまいります。



防災拠点としての活用も考えた町道284号線の道路整備が望まれる松川町運動公園

いっばん質問

問

行政評価を有効活用しているか

答 総合計画の目的に近づける

近年、議会で行政評価をする基礎自治体が出てきている。松川町はまだできていないが、検討していく必要がある。総合計画の基本目標に向けて、いくつもの事業が実施されるが、それによって「町民の幸福度がいかに高まるか」が肝要だ。庁舎内での自己評価だけでは不十分だと考える。

2問目の「通学路点検から見えるこれからの取り組みについて」は、高森町と比べても、あまりに多くの危険個所が指摘されている。事故が起きてからでは取り返しがつかない。



森谷岩夫 議員

いっぱん質問

(問) 令和2年度の行政評価から、進捗度を重く見た評価から、政策の効果や成果を中心に評価する方法に変更になったと聞く。それによって行政評価がどう変わったか。

(まちづくり政策課長) 政策実現に向けた評価には、目的達成度という括りを設け4段階で評価している。また次年度施策への展開を重視している。

(問) 「安心・安全な住みよい暮らしづくり」で災害時を含めた道路行政は、達成したものが多くある。町民感情とかい離があるのでは。外部評価委員に区や自治体代表がないのも不自然ではないか。今の報告時期では、次年度対応に反映できないが。

(町長) 行政評価委員のなかからも同じ意見があった。厳しく評価することも必要かとも思う。もう少し早く議会に報告できるように検討する。

(まちづくり政策課長) 各種団体から12名お願いして、それぞれの専門分野から評価をいただいている。この次は構成についてももう少し検討してみたい。

(問) 児童の通学路点検が行われたようだが、それについて今後どのように対応していくのか。県の新聞報道では危険個所が40、対策必要が36か所とあったが。

(ごごも課長) 対策会議を2回ほど開き、国、県への要望も含め、それぞれの道路管理者で予算も含めて検討していく段階だ。

(問) 町道名子原中央線(伊那食品の前の道)は上片桐の中学生が多く通学路としている。歩道もなく、子供たちの安全が後にされていると思う。理事者の予算の使い方などでどうにもなると思うが。

(教育長) 通学路の変更、通学専用道の設置

などを含め、早めに歩道ができるようお願いしているところだ。

(意見) 道の良し悪しは誰にでもわかる。要望しても何も変わらないければ町民は何も言わなくなる。そして交通事故になる。見える形で改善できることが大事だ。



名子原中央線の歩道設置を早く



米山義盛 議員

問 地球温暖化対応と職員の働き方を問う

答 CO₂削減と働きやすい職場づくりを

地球温暖化危機に対応するための町内での、自然・再生エネルギーの産出状況や「カーボンニュートラル宣言」への取り組みを問う。また町職員の長期病休者や年齢構成などの実情について伺い、働きやすい職場のための方策を問う。

いっぱん質問

(問) 今年二つの水力発電が稼働し、町内の太陽光パネルも大小に普及しているが、町内の電気需要と、自然・再生発電状況はどうか。

(町長) 気温上昇とか集中豪雨など町内でも増加をし、気温も35度以上の猛暑日が二年度は15日が、三年度は長雨で6日でしたが増加傾向だ。現行の総合計画で年度ごとに達成状況や課題、次年度への施策の展開について行政評価を実施し、次期計画の策定に活かす。

(問) 政府は「地球温暖化対策計画」策定し、「2050年カーボンニュートラル」宣言と2030年度46%削減目標を決定して各部門でのCO₂削減を取り組むこととした。松川町での対応を問う。



(問) 今後の地球温暖化危機に地域からどう取り組むか。

松川町太陽光発電状況 (R2年度)

項目	数値
発電契約件数	1,055件
発電契約量	27,000KW
販売電力量	36,000MWH
町内供給電力量	100,000MWH
町内供給率	36%

(住民税務課長) 二年度町内の太陽光発電の状況は左表の通りだ。

(教育長) 学校関係では療養休暇取得者は、

(総務課長) 今年度は正規職員、会計年度職員含め2名で、また昨年度は1名である。

(問) 自治体職員の長期病休者が令和元年度全国で10万人当たり2,708人と最高とのことであるが当町の状況はどうか。

O₂排出実質ゼロ表明自治体には入っていないが、現在は令和二年三月に長野県の気候非常事態宣言に賛同している。実効的な施策が必要であると考え、次期総合計画の策定に合せて研究をしていく。当面は松川町役場で事務および事業に関して、温室効果ガスの発出量の削減を目指し、できることから取り組んでいく。

松川町年齢別職員数

年代	20	30	40	50	60	70	合計	町内住居者
正規職員	50	44	28	20	3	0	145	53.1%
会計年度職員	9	34	49	58	44	7	201	54.7%

(総務課長) 町役場職員の状況は左表である。若い人程町外からの通勤者が多い。安全衛生委員会を組織し、ストレスチェックやメンター制度などに取り組む。正規職員への雇用の道もある。

(問) 町の職員の正規職員と非正規職員の数、また、町内居住者の状況などを問う。

1名である。

問

農福・林福連携事業推進状況は

答

就労サポート支援員不足が課題



米山郁子 議員

私たちの食生活を支えている農業・林業従事者の担い手不足が長期課題となっている。一方では、障がい者の方も人口の7%の方がおり、増加傾向にある。障がい者の方が職業を通じて生きがいをもち、自立した生活を送ることができるように求められる。福祉に手厚いまちづくりを目指して頂きたい。

いっぱん質問

(問) 農業・林業を活用した障がい者支援について町長のお考えは。

特性に合わせた作業ができるように内容を細分化し、負担の少なくした働き方を進められている。

(町長) 農林業と福祉の連携は担い手の確保という面から確かに一定の効果が認められている。人手を必要とする農業を手伝うことは障害のある方が、地域を支える存在に変わり、地域の人たちと交流する機会が増えると考えている。

行政からの金銭面など直接的な支援はない。間接的な支援として農福アワードに参加する際の、推薦書の作成など事務的な支援や販路拡大支援をしている。

(問) 農業を活用した障がい者就労についてのどのような支援をされているのか、松川町の状況は。

(問) 有機農業に取り組まれているが、有機野菜を提供してくれるところが少ないと聞いている。障がい者の就労施設と連携して収穫率を高め、学校給食への供給率を高めていただくければと考えるがどうか。

(保健福祉課長) 農地所有適格法人を持った株式会社があり、農福の連携をしているところがある。遊休農地を借り上げ、リンゴやニンニクの栽培などで障がい施設利用者の方に、

(産業観光課) いくつかの福祉施設に問い合わせをしたが障がい者の就労サポートをする支援員不足や販路はできているなどでお断りさ

れた。

(問) 長野県にはセルプセンター協議会という組織があり、地域連携促進コーディネーターが仲介し、障がい者就労施設と作業内容や賃金など調整してくれる。農業経営者と障がい者のお互いの不安

を解消するためにも、障がい者農業就労体験会を開催することを提案したい。

(産業観光課長) 町には「のうふくJAS」の認証を受けた企業がある。取組事例を参考に体験会をすることも可能と考える。



長野市にある社会福祉法人「花工房福祉会」の利用者さんの大豆の種蒔きと収穫です。豆腐や醤油に加工され販売されます。



加賀田亮 議員

問 町長に他組織トップの手腕あるか

答 経営責任者を迎えるお金がない

チャンネル・ユーと清流苑を題材に、町長の具体的な行動力やリーダーとしての意欲を質した。任期残り1年余となった今も町長の具体的な成果は皆無に等しい。残念ながら未だに「協議・相談する」といった答弁に終始。具体的な行動については触れない。町長としての信念やリーダーシップが全く望めない。その反面、公選法に対する遵法精神が低く独善的な姿勢。松川丸の船長には不安を通り越して、町の存亡の危機すら感じる。

いっばん質問

(問) 1月にチャンネル・ユー(以下CY)へ町は億単位の補助金を投じた。CYは公益性が高いとの理由を町長は断言。その後CYで町長が強く希望した企画「町長の部屋」を放映。町長が司会役として必要以上に長時間露出している。これは公職選挙法に抵触し、現職町長に圧倒的に有利な広報選挙活動とも受け取られかねない。CYの公益性にも矛盾している。一般町民やCY職員を司会役とし、町長は退くべきでは。

(町長) 今後も続ける。自分には発信力がある。公選法には抵触しない。見解の違いだ。

(問) CYは選挙・政治に関する恐れがある放送を避けているようだ。立候補予定者たちの公開討論会放映など、

町政への関心を高める番組制作に積極的であるべきだ。CY社長である町長にはそれが可能なはずだが。

(町長) CY理事会に諮られるのではないかと思う。

(意見) 高森町の「町長の部屋」は行動予定や交際費公表に留めてある。公選法の遵法精神が低く独善的な町長の姿勢には今後也十分警戒して注視する。

(問) 4月から町長が清流苑の経営トップだ。今期は8千万の赤字予定とのこと。厳しい環境を打開できる経営手腕が町長にあるのか。4月以降の具体的な経営戦略は。

(町長) この場で示す段階ではない。当面は人事体制を整えたい。

(問) 肝心な町の事業も一向に成果がない。耳触りが良いだけで具体的中身の無い答弁だ。町長の任期は残り1年余。具体的な行動と成果が遅すぎるのでは。

(町長) 自分は着実にやっている。

(問) 着実とは何か。

(町長) 町民と協議することだ。

(問) CYや清流苑の経営トップは町長には無理だ。現段階でも具体的な戦略がない。経営手腕の高い人材を発

掘して任せるのが現実的では。

(町長) 人材を雇い入れるお金がない。理事会や経営会議に問うことに向けて、検討を重ねていく必要があると感じている。

(意見) 決断を避ける残念な答弁だ。リーダーシップが絶望的に欠落している。就任から3年近く経つのに、いつまでたっても決断が下せない。何も実行できない町長に議会は術がない。今後も町長の決断を避ける町政運営を厳しく監視する。



この町に暮らして

松川町に暮らしてみよう

(名子中部) 下沢 孝司

もともと私が松川町出身だったこと、妻は飯田市出身だったこともあり、永住する場所は飯田下伊那でと考えていました。様々なご縁があったて、松川町にマイホームを建てることになり、昨年3月から暮らしています。

自分が小さな頃に過ごしていた感じていた松川町の良さとは別に、大人になったから

こそ感じる、この町の良さがいくつもあります。その中でも特に感じているのは、人の温かさや自然の豊かさです。

移住と同時に組合に加入させていただきました。近所に住む、同じ組の皆様は、移住してきた私たちを温かく迎えてくださいました。畑の作り方やその他いろいろと優しく教えてくださり、本当にうれ



しく思っています。また、我が家の子ども達と同じくらいのお子さんがたくさんいて、子どもも仲良くさせていただいています。松川町に来てから、子ども達も趣味が増え、笑顔も増えたように感じます。さらに、おいしい野菜や果物もいただくこともあり、自分の家庭菜園でもおいしい野菜を！と日々努力を重ねていま

す。

移住してから、自然の豊かさを肌で感じることも多くなりました。周囲に広がる果樹園、遠くにそびえ立つ山々。春夏秋冬、季節の移ろいを感じながら生活しています。

この町に住んでよかったと心から思っています。我が子が大きくなったときに、「松川町で育ってよかった。」と思ってくれるといいなと思います。今後もたくさんのご縁を大切に暮らしていきたいと思っています。

I Have a Dream!

私には夢がある

未来に羽ばたく若者●子どもたち



松川中学校女子ソフトテニス部

女子ソフトテニス部です。現在部員は5名と少ないですが、目標に向かって、1人1人が与えられた役割や、成長するために必要なことを自ら考え日々活動しています。来年度の中体連夏季大会に向けて、感謝の気持ちを忘れることなく、残された時間の中で努力を積み重ねていきます。

タイトルの「I Have a Dream」は、ノーベル平和賞を受賞したキング牧師の演説の一節。職と自由を求めたこの有名な演説は、公民権運動に大きな影響を与え、未来を切り開いた。

広報部 (編集委員会)

- (部長) 米山 郁子
- (副部長) 米山 義盛
塩沢 貴浩
- (部員) 松井 悦子
米山 俊孝
中平 文夫

あ と が き

明けましておめでとうございます。昨年の漢字は「金」、オリンピックが開催された年に相応しい字となりました。今年、7年に一度の「御柱祭」の年、2022年が町民の皆様にとっていっそう良い年になりますように、祈念申し上げます。議会だより編集委員会では、毎号力を合わせて編集を行っています。感想など、お寄せ頂ければ幸いです。今年もよろしくお願い致します。(松井悦子)